

# 第17回 環境法政策学会

*Japan Association for Environmental Law and Policy*

2013年6月15日(土) 成蹊大学(武蔵野市吉祥寺北町3-3-1)

## プログラム

9:30~12:00 分科会<個別報告> (3号館)

第一分科会	4階401教室	<報告20分、質疑応答5分>
第二分科会	4階402教室	<報告20分、コメント5分、質疑応答5分>
第三分科会	4階403教室	//
第四分科会	4階404教室	//
第五分科会	5階501教室	//
第六分科会	5階502教室	//

12:00~13:00 理事会 (西1号館4階会議室)

13:00~13:30 会員総会 (3号館303教室)

シンポジウム「環境基本法制定20周年—環境法の過去・現在・未来」

(3号館303教室)

13:30~13:40 <挨拶> 開催校

13:40~15:40 <第1部 報告>

15:40~16:00 休憩

16:00~17:30 <第2部 パネルディスカッション>

18:00~ 懇親会 (10号館12階ホール)

~会費 5,000円 当日の大会受付時にお支払いください~

### [注意事項とお知らせ]

- 1 分科会とシンポジウムの詳細は、裏面を参照ください。
- 2 開催校への質問等は、下記宛にお願いします。  
成蹊大学開催校事務局 渡邊知行 \*メール：[kankyo@jc.seikei.ac.jp](mailto:kankyo@jc.seikei.ac.jp)
- 3 会員外の方とご参加される場合には、ご参加される会員外の方のお名前とご所属を事務局までご連絡をいただきますようお願い申し上げます。事務局：[kankyo@shojihomu.or.jp](mailto:kankyo@shojihomu.or.jp)

<環境三学会合同シンポジウム>

日時：2013年6月16日(日) 13:30~17:00

場所：リバティタワー1階1013教室(リバティホール)(明治大学駿河台キャンパス)  
千代田区神田駿河台1-1

テーマ：「原子力被害とその救済」 ※詳細は別添のパフレット参照

# 環境法政策学会 第17回学術大会プログラム

《参加者・報告内容等一部が変更になる可能性があります》

## 第一分科会 ミニシンポジウム—環境法の過去・現在・未来

[ 4階401教室 司会者：高橋滋（一橋大学）]

- |          |                |
|----------|----------------|
| ①汚染・リスク  | [下村英嗣（広島修道大学）] |
| ②環境影響評価  | [柳 憲一郎（明治大学）]  |
| ③地球温暖化対策 | [黒川哲志（早稲田大学）]  |
| ④循環 環    | [勢一智子（西南学院大学）] |
| ⑤生物多様性   | [及川敬貴（横浜国立大学）] |

## 第二分科会 廃棄物・リサイクル [ 4階402教室 司会者：新美育文（明治大学）]

- ①容器包装リサイクル法政策・法施策の次期見直しに向けての提案  
[報告者：戸田博之（神戸大学法政策研究会）／コメンテーター：織 朱實（関東学院大学）]
- ②自治体、企業アンケートから考える、2010年改正廃棄物処理法「21条の3」問題  
[堀口昌澄（アミタ持続可能経済研究所）／藤田八暉（久留米大学）]
- ③ブラジルのリサイクル法制の展開—廃棄物対策法の成立経緯  
[チアゴ トレンチネラ（大阪大学大学院）／奥田進一（拓殖大学）]
- ④産業廃棄物に関する許可権限を有する111自治体における廃棄物管理関連条例の上乗せ・横だし規定に関する一考察（仮称）  
[小清水宏如（環境政策ネットワーク）／北村喜宣（上智大学）]

## 第三分科会 地球・エネルギー [ 4階403教室 司会者：岩間 徹（西南学院大学）]

- ①国際レベルにおけるフロンガスの生産・消費・排出規制に関する課題と今後の展望  
[久保田泉（国立環境研究所）・亀山康子（国立環境研究所）／笠井俊彦（新エネルギー・産業技術総合開発機構）]
- ②地球温暖化による損失への対応と保険制度  
[斉藤照夫（損保ジャパン日本興亜リスクマネジメント）／久保田 泉（国立環境研究所）]
- ③地熱エネルギーの利用促進に関する法的課題～温泉資源の保護に係る法的規制を中心に～  
[小林 寛（長崎大学）／三浦大介（神奈川大学）]
- ④大気汚染対策として排出量取引の対象となる排出枠・削減クレジットの法的性質—米国酸性雨プログラムにおける二酸化硫黄排出量取引制度から、気候変動対策としての二酸化炭素排出量取引へ—  
[長谷代子（名古屋大学大学院）／野村摂雄（日本海事センター）]
- ⑤ドイツ中長期気候政策形成過程における専門家の役割  
[渡邊理絵（新潟県立大学）／久保はるか（甲南大学）]

## 第四分科会 環境リスクと予防原則 [ 4階404教室 司会者：山田 洋（一橋大学）]

- ①予防原則に基づく措置に対する比例原則による統制  
[藤岡典夫（農林水産省農林水産政策研究所）／増沢陽子（名古屋大学）]
- ②「制度化された予防原則」の「見直し」における順応的管理の導入について—化審法におけるリスク評価を用いた順応的管理の導入の意義—  
[辻 信一（横浜国立大学大学院）／赤淵芳宏（名古屋大学）]
- ③環境保全手法としての「規範代替型契約」  
[柴田優人（立教大学大学院）／山田 洋（一橋大学）]
- ④化学物質法制における水銀条約の意義と国内法との関係に関する一考察～ストックホルム条約との比較等から  
[増沢陽子（名古屋大学）／下村英嗣（広島修道大学）]

**第五分科会 環境訴訟〔5階501教室 司会者：小早川光郎（成蹊大学）〕**

- ①費用効果分析に対する裁量統制の限界—公共事業裁判の研究  
〔田畑琢己（埼玉県庁）／正木宏長（立命館大学）〕
- ②廃棄物処理施設設置・操業をめぐる抗告訴訟の原告適格  
〔牛嶋 仁（中央大学）／福士 明（北海学園大学）〕
- ③環境訴訟における対立利益の民事訴訟による処理  
〔岩橋健定（弁護士）／根本尚徳（北海道大学）〕
- ④南相馬市産廃処分場事件における「矛盾訴訟」問題（仮題）  
〔島村 健（神戸大学）／小早川光郎（成蹊大学）〕
- ⑤都市計画・まちづくりにおける行政過程と司法過程の協働・役割分担  
〔角松生史（神戸大学）／川嶋四郎（同志社大学）〕

**第六分科会 自然資源の保護と利用〔5階502教室 司会者：加藤峰夫（横浜国立大学）〕**

- ①CAP 農業環境政策のイギリスにおける展開に関する一考察—環境スチュワード事業分析を通じて  
〔久米一世（早稲田大学大学院）／片山直子（和歌山大学）〕
- ②河川法における水取引の制度設計に関する一考察—カリフォルニア州における  
“水利権定量化紛争解決のための和解”を素材として— 〔松本充郎（大阪大学）／荏原明則（関西学院大学）〕
- ③資源開発における環境配慮—岩石採取に係る地方自治体の行政実務を例として  
〔内藤 悟（東北公益文科大学）／加藤峰夫（横浜国立大学）〕
- ④ベトナム環境保護法 2013 年見直し法案の意義等について  
〔苦瀬雅仁（環境省）／作本直行（日本貿易振興機構）〕
- ⑤持続的流域管理のための法と政策  
〔三好規正（山梨学院大学）／松本充郎（大阪大学）〕

＝＝＝  
**シンポジウム（3号館303教室）**

**「環境基本法制定20周年—環境法の過去・現在・未来」**

☆第1部 報告☆ 司会：柳 憲一郎（明治大学）、増沢陽子（名古屋大学）

**13:40～14:00** 総括： 淡路剛久（立教大学）

**14:00～14:20** 理念・原則： 大塚 直（早稲田大学）

**14:20～14:40** 参加： 大久保規子（大阪大学）

**14:40～15:00** 手法： 島村 健（神戸大学）

**15:00～15:20** 環境行政組織： 北村喜宣（上智大学）

**15:20～15:40** コメント： 浅野直人（福岡大学）・高村ゆかり（名古屋大学）

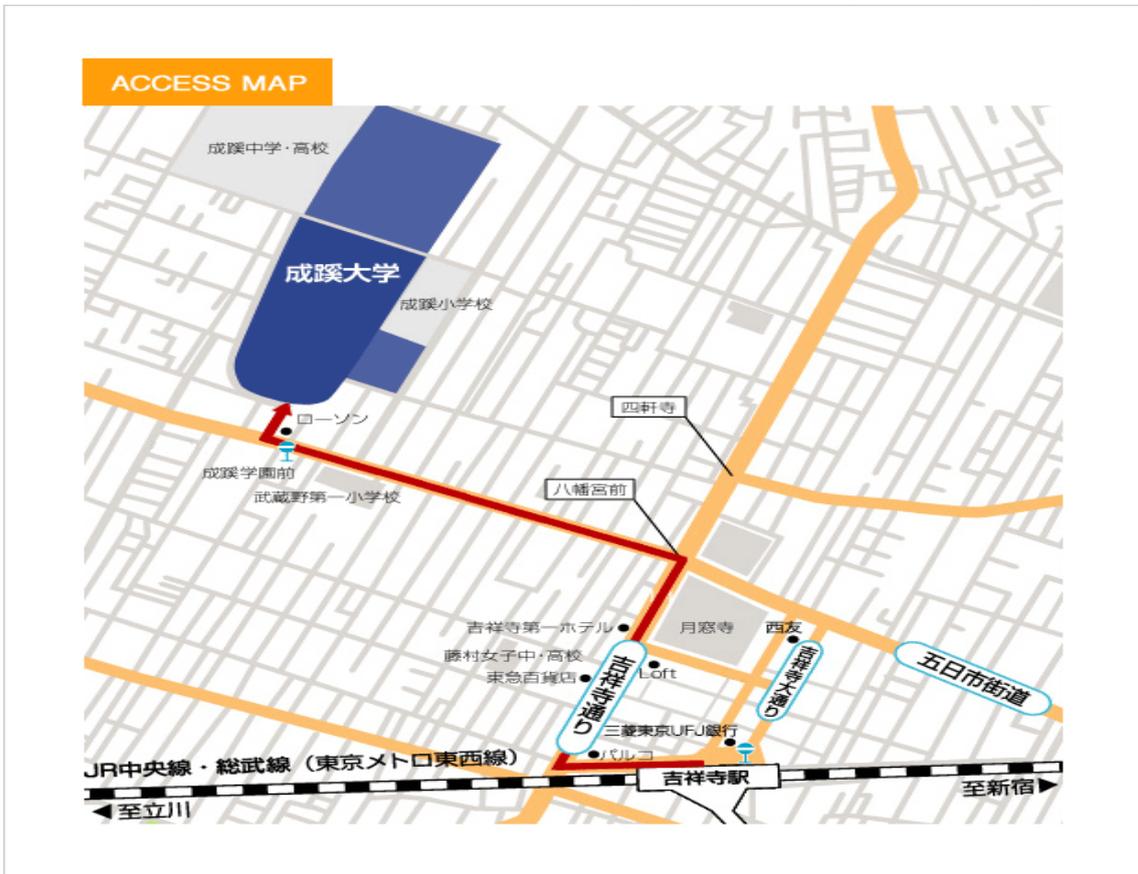
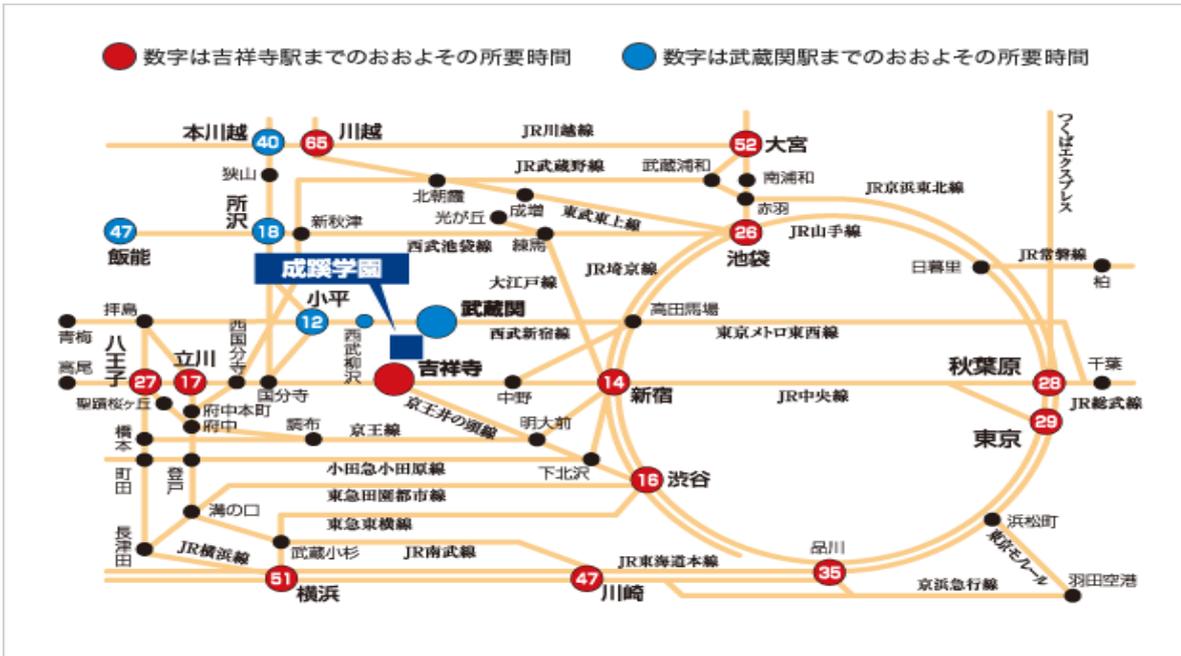
**15:40～16:00** —— 休憩（質問票回収） ——

☆第2部 パネルディスカッション☆ 司会：石野耕也（中央大学）、磯野弥生（東京経済大学）

**16:00～17:30**

- パネリスト：①淡路剛久（立教大学）  
②大塚 直（早稲田大学）  
③大久保規子（大阪大学）  
④島村 健（神戸大学）  
⑤北村喜宣（上智大学）  
⑥西尾哲茂（明治大学）

<アクセスマップ>



◎交通アクセス

●吉祥寺駅からのアクセス

- JR 中央線・総武線（東京メトロ東西線）・京王井の頭線 吉祥寺駅下車
- ・吉祥寺駅北口バスのりば1・2番より 関東バスで約5分／成蹊学園前下車
- ・吉祥寺駅より徒歩約15分

●西武柳沢駅からのアクセス

- 西武新宿線 西武柳沢駅下車 西武柳沢駅南口より関東バス（吉祥寺駅 行き）で約20分／成蹊学園前下車